

# 恵庭市 子ども・子育て支援事業計画策定に向けた アンケート 〔小学生用〕

## 集計結果概要



### 【実施概要】

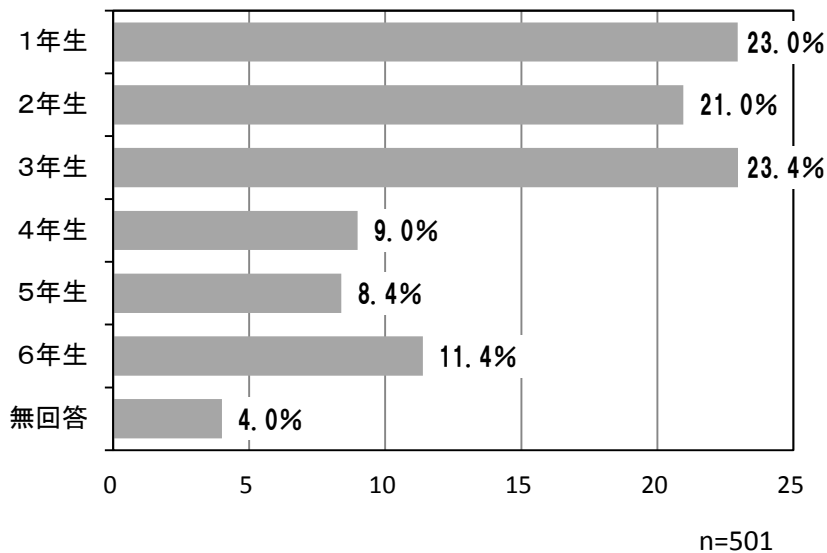
○平成 25 年 9 月実施

	対象者	配布数	回収数	回収率
小学生アンケート	市内の小学 1～6 年生の子ども（H25. 4. 1 時点）の保護者から無作為抽出	1,000 市外転出 3 (997)	501	50.3%

# ご家族の状況

## お子さんの学年

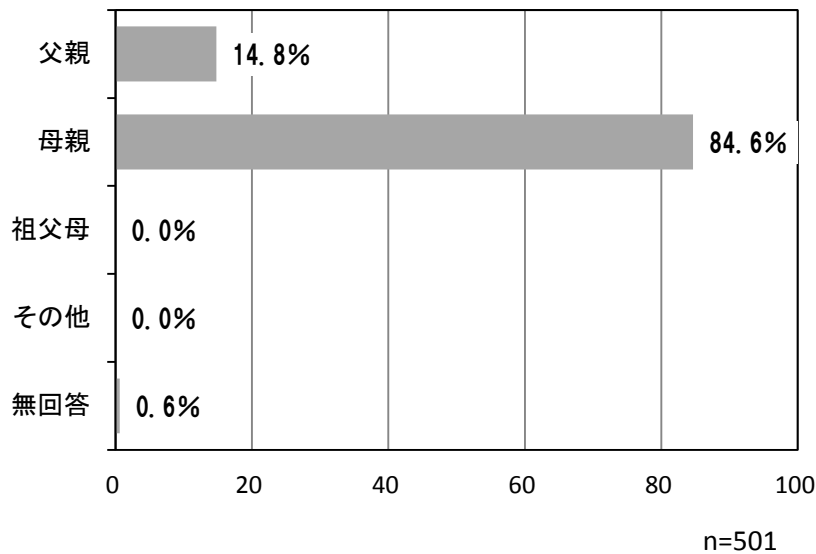
### 小学校の学年



## 回答者

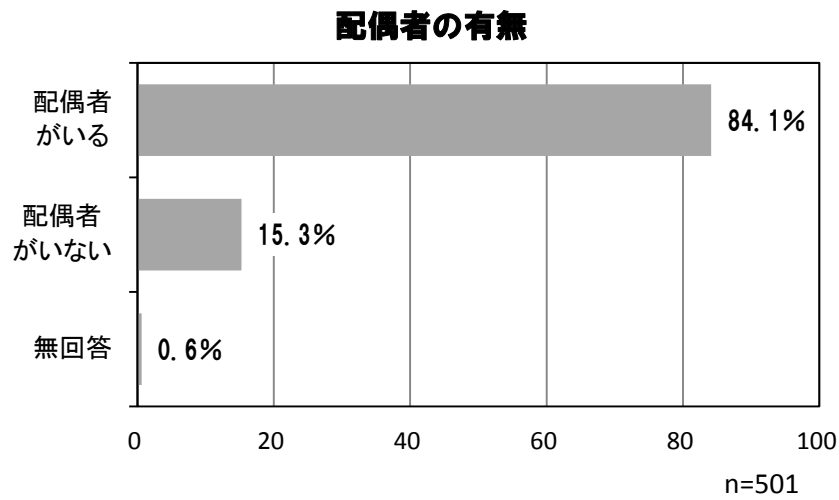
○回答者は、“父親” 14.8%に比べ、圧倒的に“母親”は84.6%と多く、このことから子育てに対する役割分担の実態がうかがえる。

### 回答者



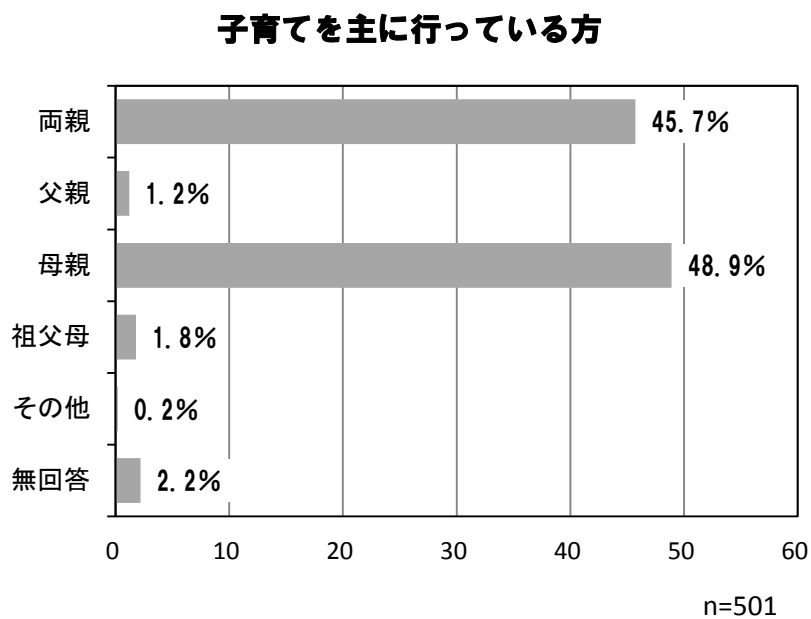
## 配偶者の有無

○ “配偶者がいない” が 15.3% となっている。



## 子育てを主に行っている方

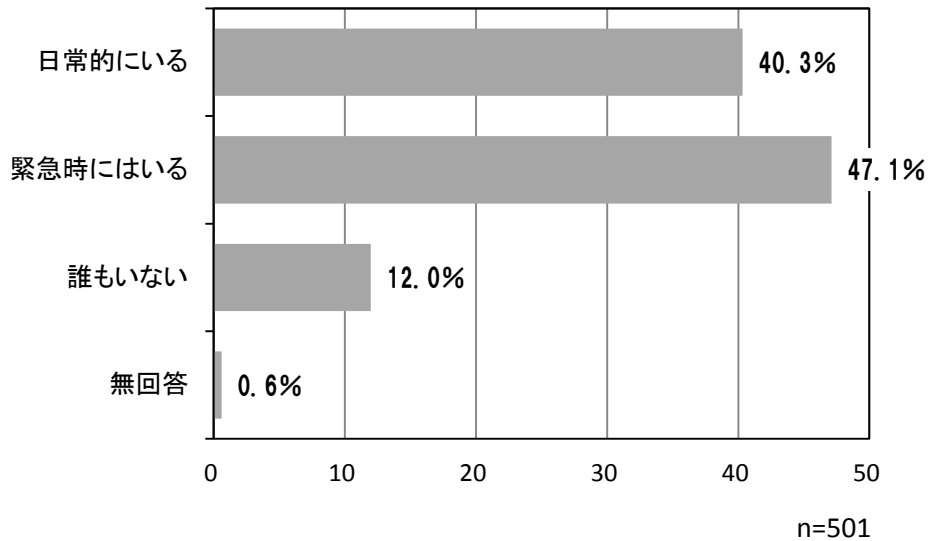
○ 子育てを主に行っている方については、“両親” “母親” がそれぞれ約半数を占めている。



## お子さんの面倒をみてもらえる親族・知人の有無

○お子さんの面倒をみてもらえる親族・知人が“日常的にいる”は40.3%と半数以下であるが、“緊急時に入る”47.1%を加えると、90%近くの方にはお子さんの面倒をみてもらえる親族・知人がいる状況である。

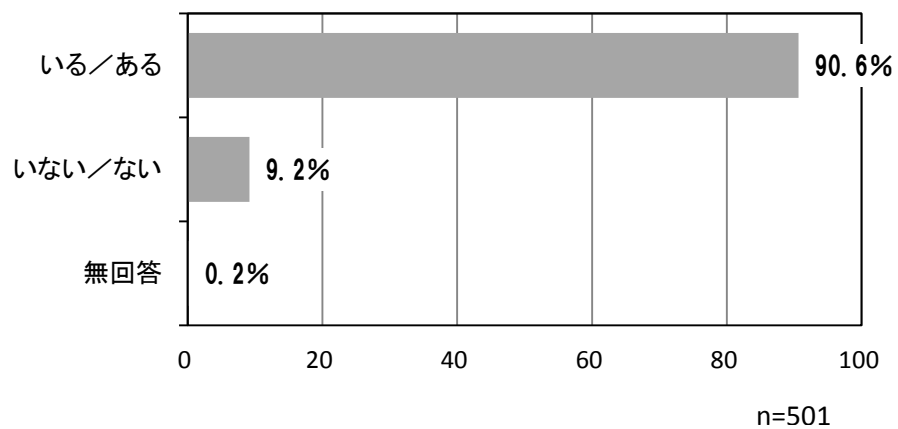
### お子さんの面倒をみてもらえる親族・知人の有無



## 子育てについて気軽に相談できる相手・場所の有無

○子育てについて気軽に相談できる相手・場所が“いる／ある”が90.6%を占める。

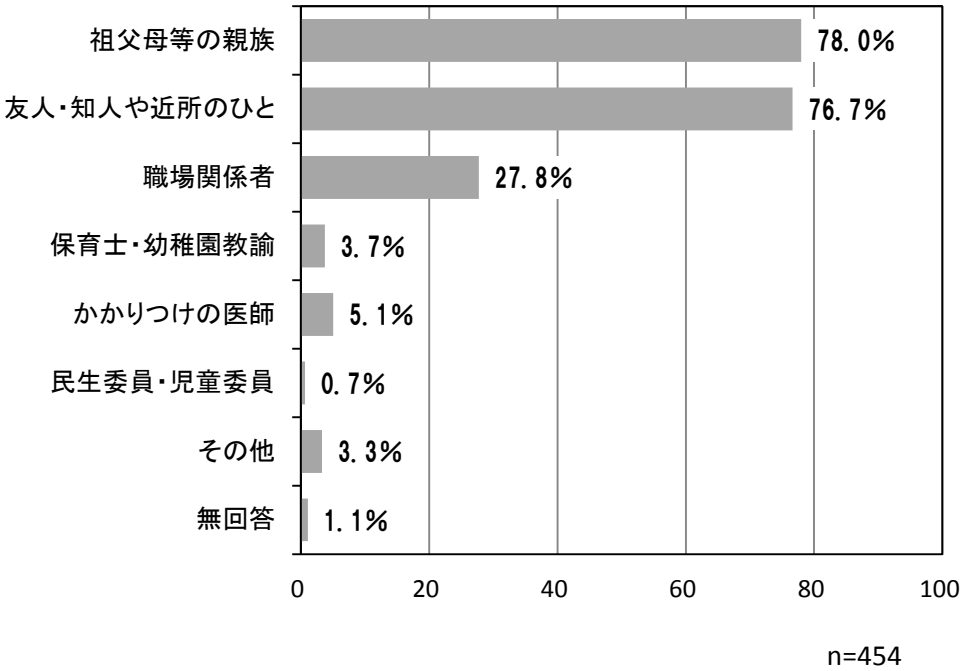
### 子育てについて気軽に相談できる人・場所の有無



## 子育てについて気軽に相談できる相手

○子育てについて気軽に相談できる相手としては、“祖父母等の親族” 78.0%、“友人・知人や近所のひと” 76.7%など、身近にいる人が多くなっている。

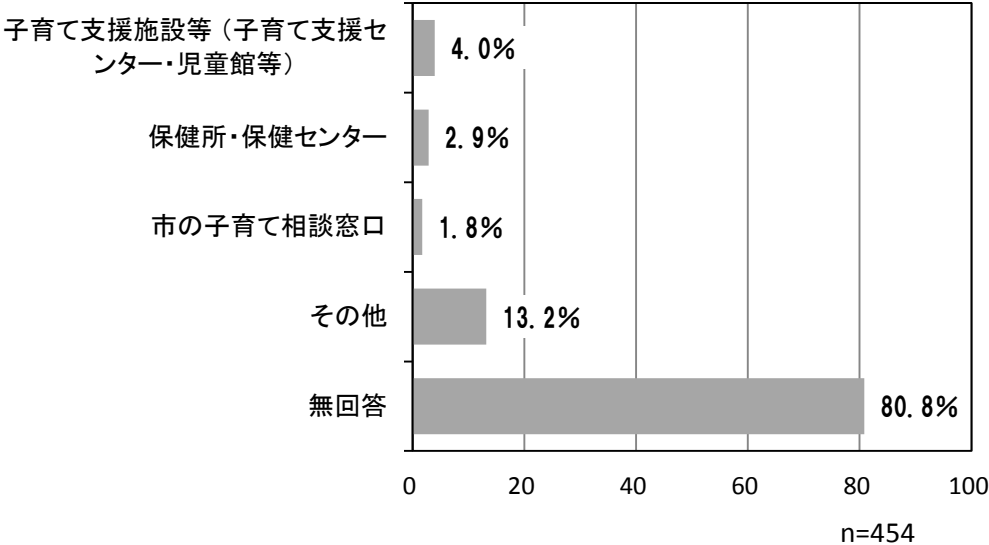
**子育てについて気軽に相談できる相手**



## 子育てについて気軽に相談できる場所

○子育てについて気軽に相談できる場所については、“子育て支援施設等” “保健所・保健センター” “市の子育て相談窓口” のいずれも 5%未満と低い。

**子育てについて気軽に相談できる場所**

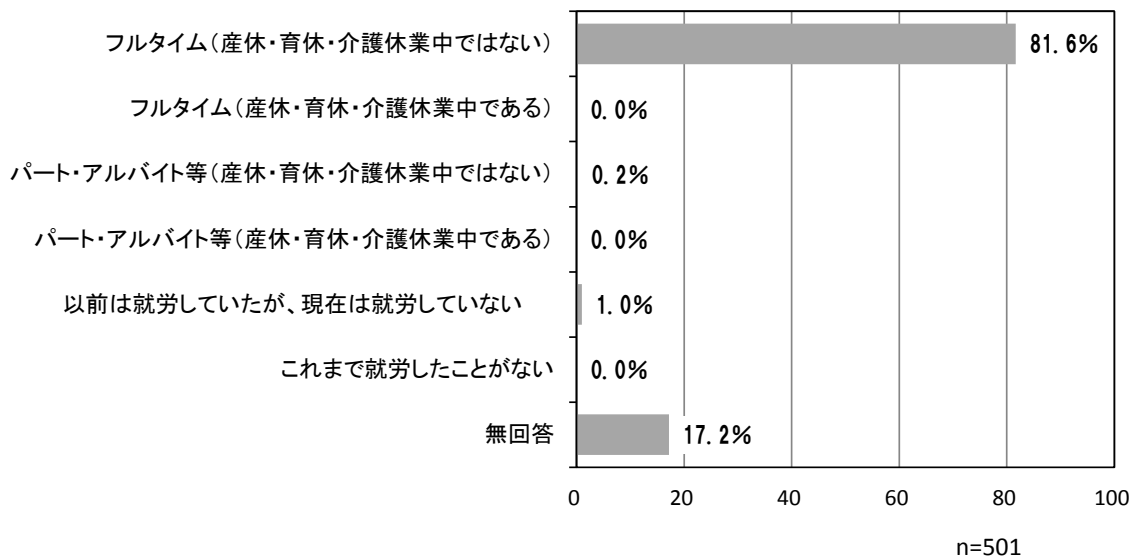


# 父親と母親の就労状況

## 父親の就労状況

○父親については、81.6%が“フルタイム”の就労状況である。

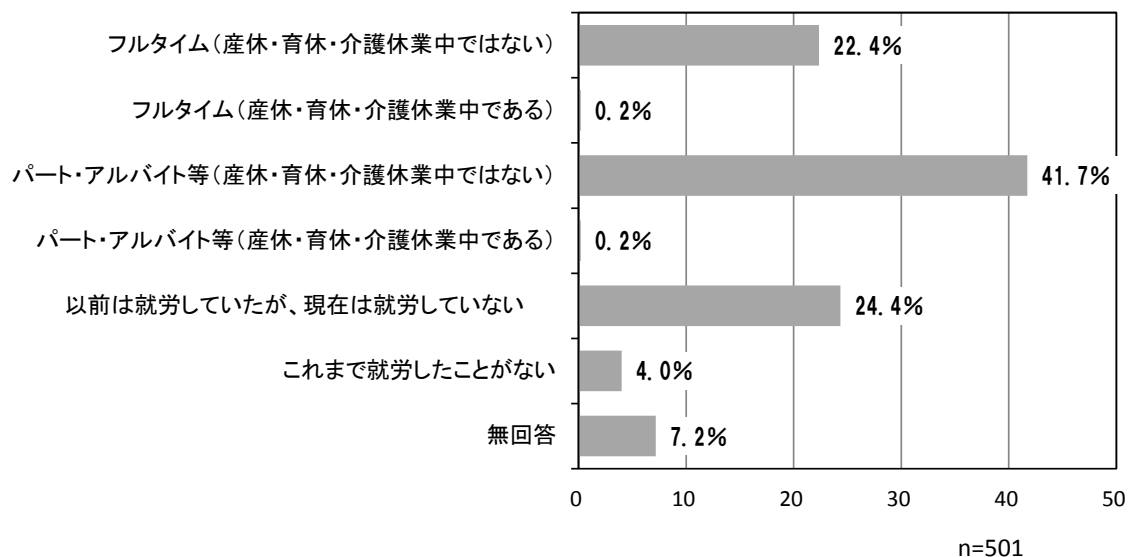
### 父親の就労状況



## 母親の就労状況

○母親については、“以前は就労していたが”、“パート・アルバイト等”が最も多く40%程度、次いで、“以前は就労していたが、現在は就労していない”“フルタイム”がそれぞれ20~25%程度となっている。

### 母親の就労状況

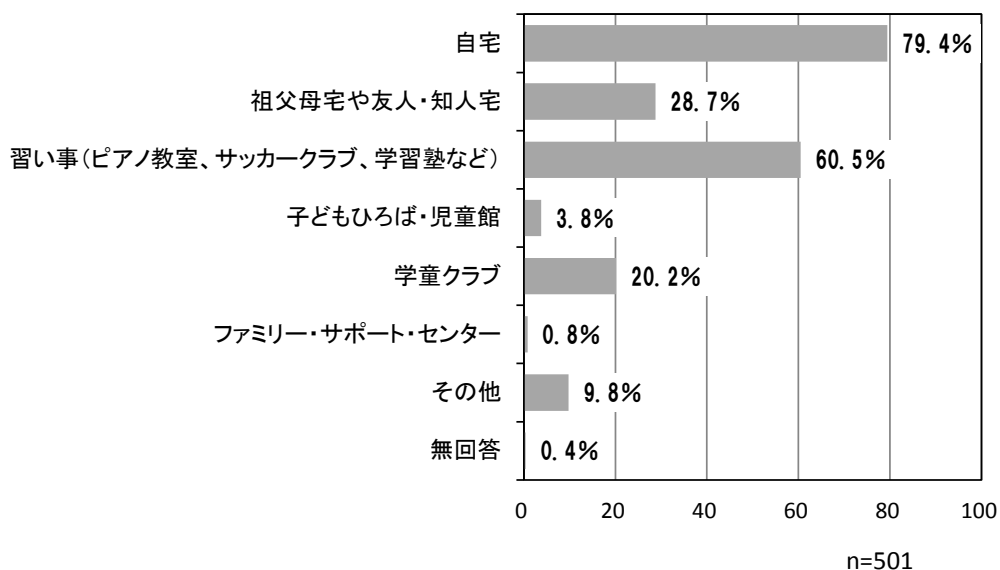


## 放課後の過ごし方

### 現在の放課後の過ごし方

○現在の過ごし方としては、“自宅”が最も多く79.4%、次いで“習い事”60.5%、“学童クラブ”20.2%などとなっている。

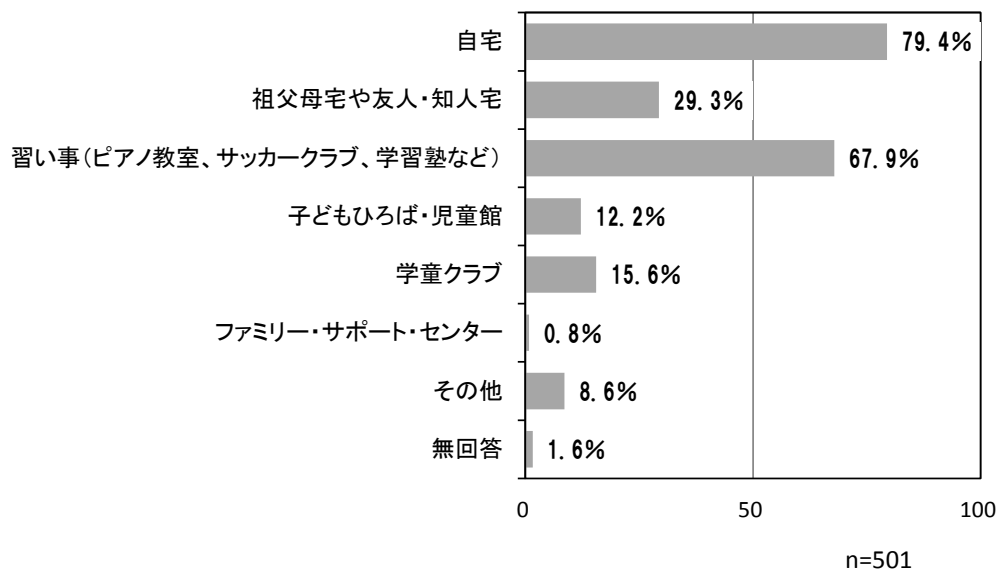
#### 放課後の過ごし方



### 今後の放課後の過ごし方の意向

○今後の過ごし方としては、“自宅”が最も多く79.4%、次いで“習い事”67.9%、“学童クラブ”15.6%などとなっており、現在の利用状況に比べると“習い事”“子どもひろば・児童館”が多い一方で“学童クラブ”へのニーズが低くなっている。

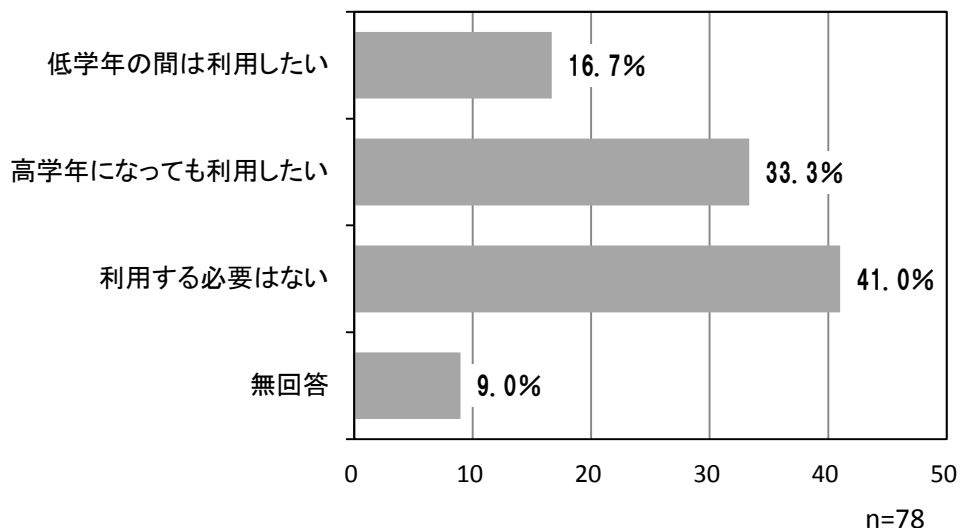
#### 今後の放課後の過ごし方の意向



## 土曜の学童クラブの利用意向

○土曜の学童クラブの利用意向については、“利用する必要はない”が41.4%、次いで“高学年になっても利用したい”33.3%、“低学年の間は利用したい”16.7%となっている。

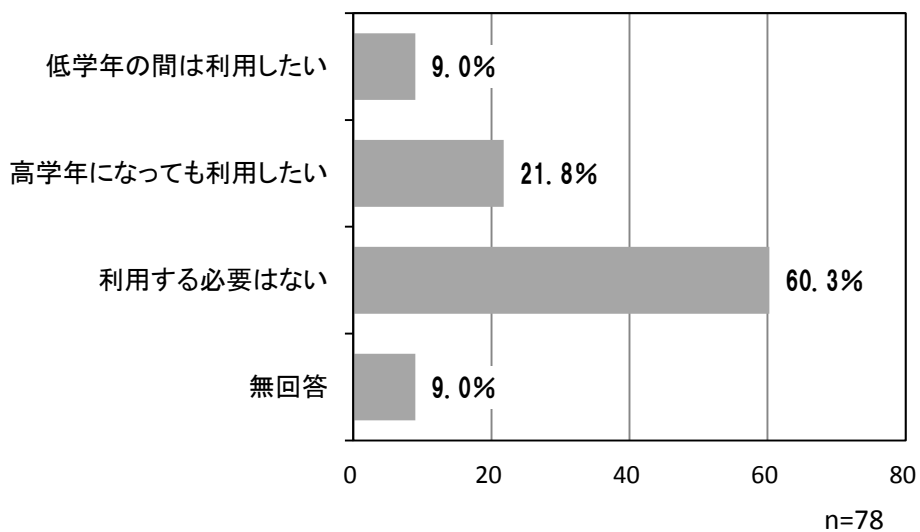
### 土曜の学童クラブの利用意向



## 日曜・祝日の学童クラブの利用意向

○日曜・祝日の学童クラブの利用意向については、“利用する必要はない”が60.3%で、次いで“高学年になっても利用したい”21.8%、“低学年の間は利用したい”9.0%となっている。

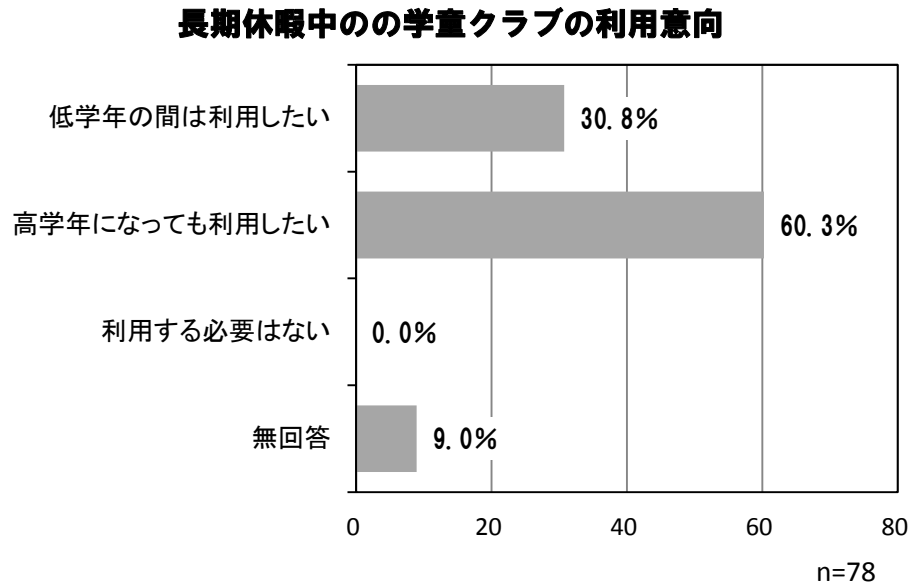
### 日曜・祝日の学童クラブの利用意向





## 長期休暇中の学童クラブの利用意向

○長期休暇中の学童クラブの利用意向については、“高学年になっても利用したい”が最も多く60.3%、次いで“低学年の間は利用したい”30.8%となっている。

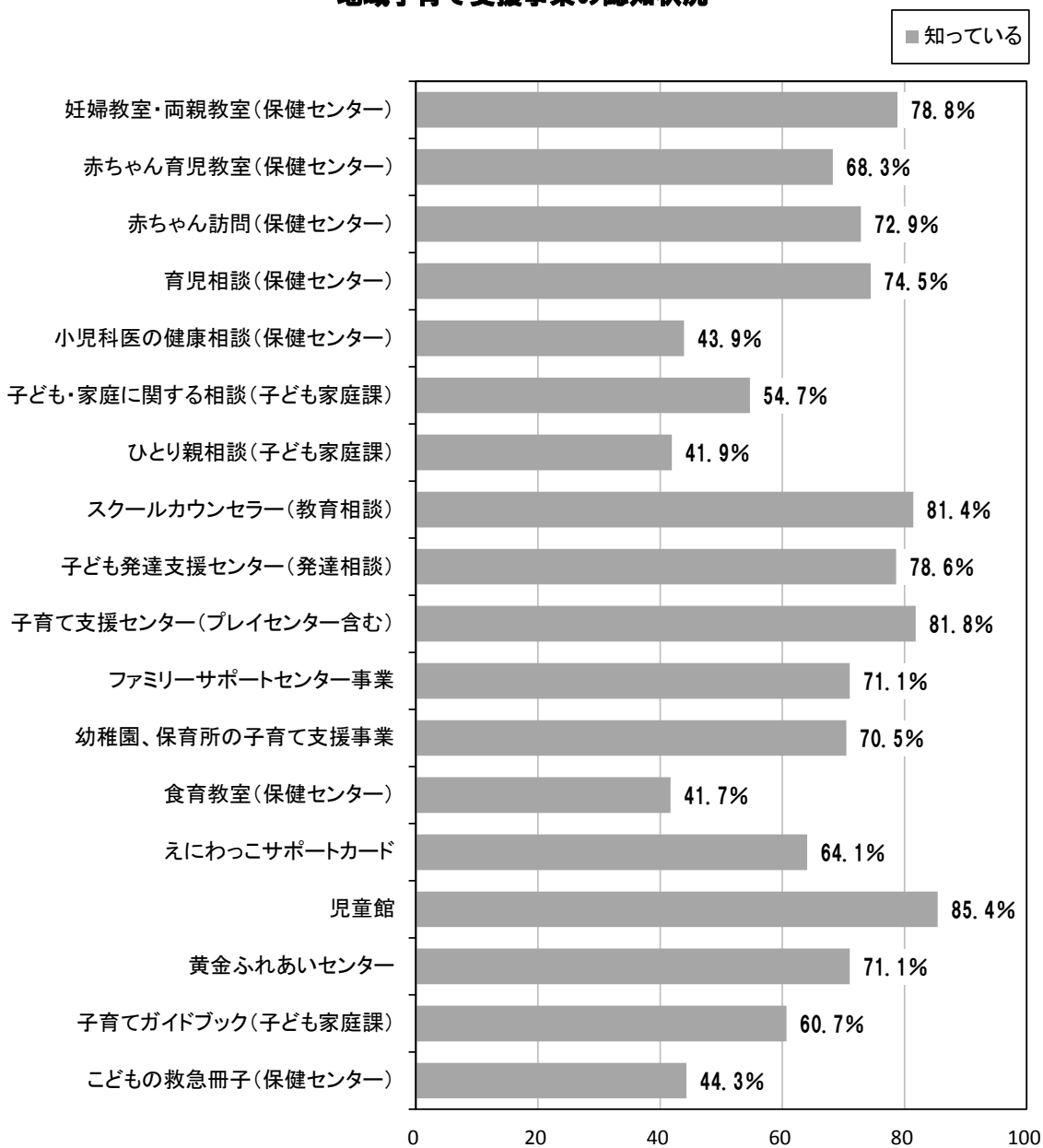


# 地域の子育て支援事業の利用状況

## 子育て支援事業の認知状況

○子育て支援事業の認知状況については、“児童館”“子育て支援センター”“スクールカウンセラー”がよく知られておりいずれも80%以上の認知度となっており、逆に“食育教室”“ひとり親相談”“小児科医の健康相談”“子どもの救急冊子”についてはいずれも知っている人が半数以下となっている。

地域子育て支援事業の認知状況

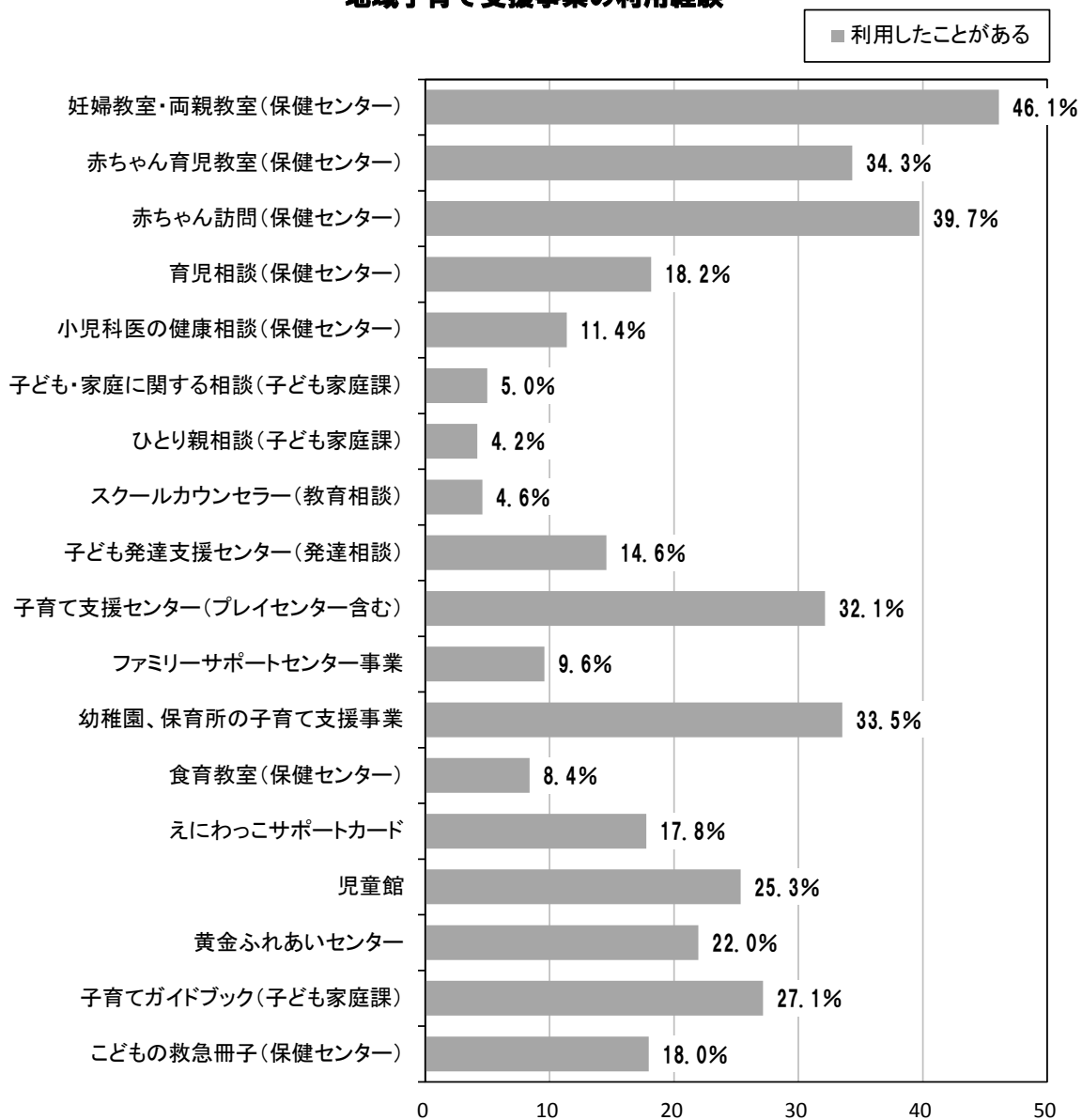


n=501

## 子育て支援事業の利用経験

○子育て支援事業の利用経験については、“妊婦教室・両親教室”が最も利用されており46.1%、逆に利用経験者が少ないのは“ひとり親相談”4.2%、“スクールカウンセラー”4.6%、“子ども・家庭に関する相談”5.0%などとなっている。

### 地域子育て支援事業の利用経験

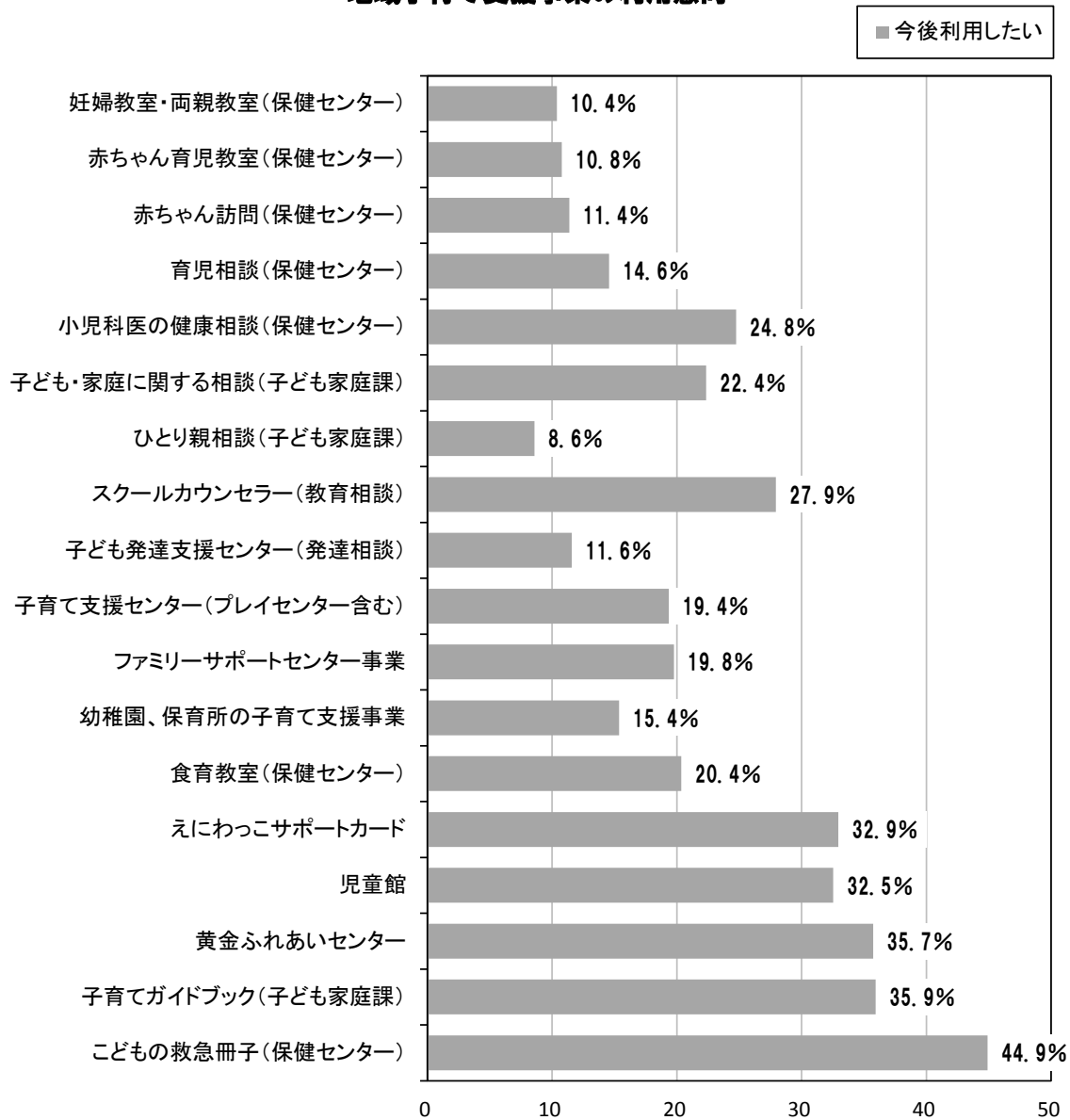


n=501

## 子育て支援事業の利用意向

○子育て支援事業の利用意向については、“子どもの救急冊子”が最も高く44.9%、次いで“子育てガイドブック”35.9%、“黄金ふれあいセンター”35.7%などとなっている。

地域子育て支援事業の利用意向



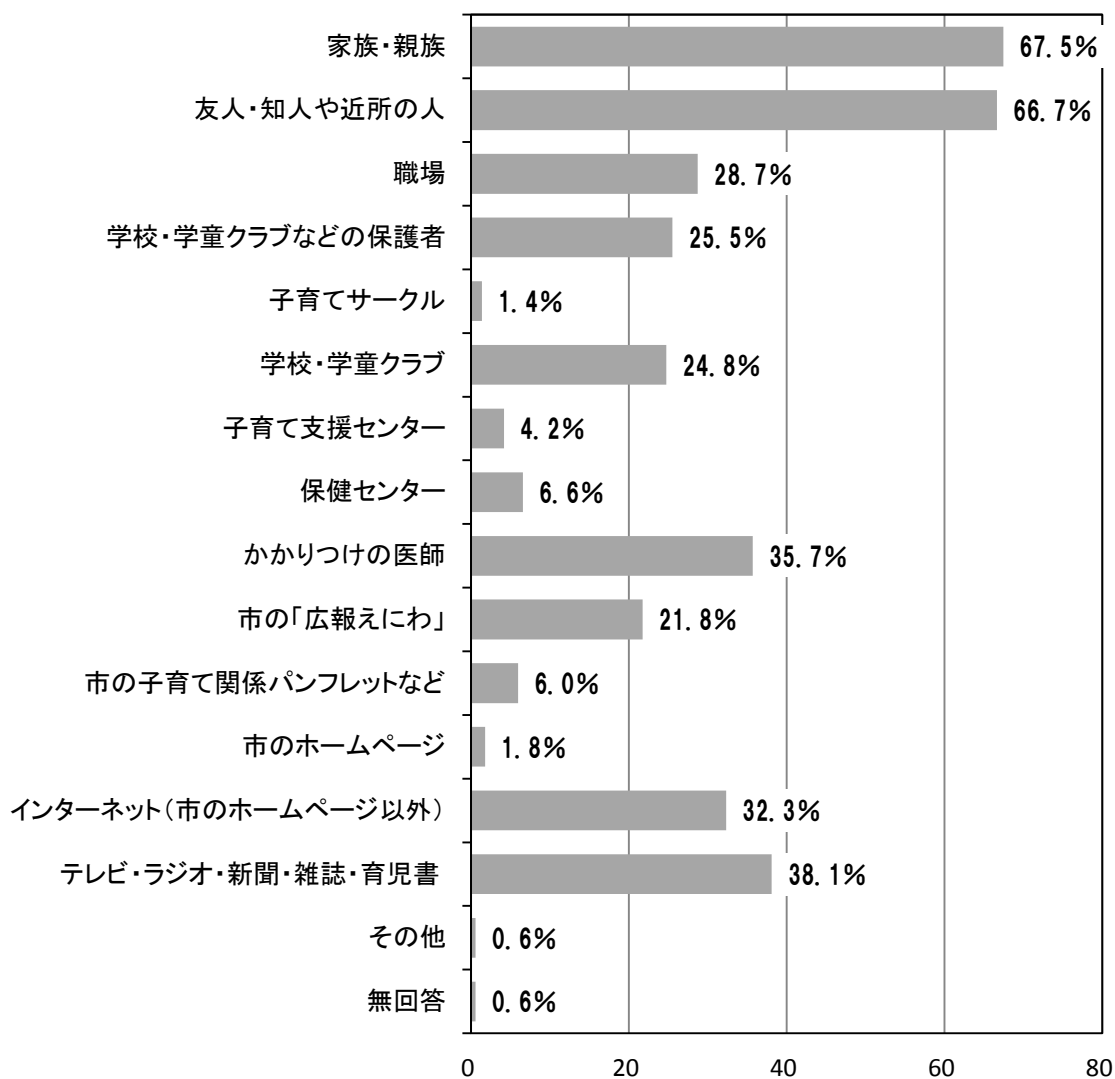
n=501

# 子育て全般について

## 子どもの健康に関する情報の入手先

○子どもの健康に関する情報の入手先としては、“家族・親族”“友人・知人や近所の人”がいずれも70%程度と多い。

### 子どもの健康に関する情報の入手先

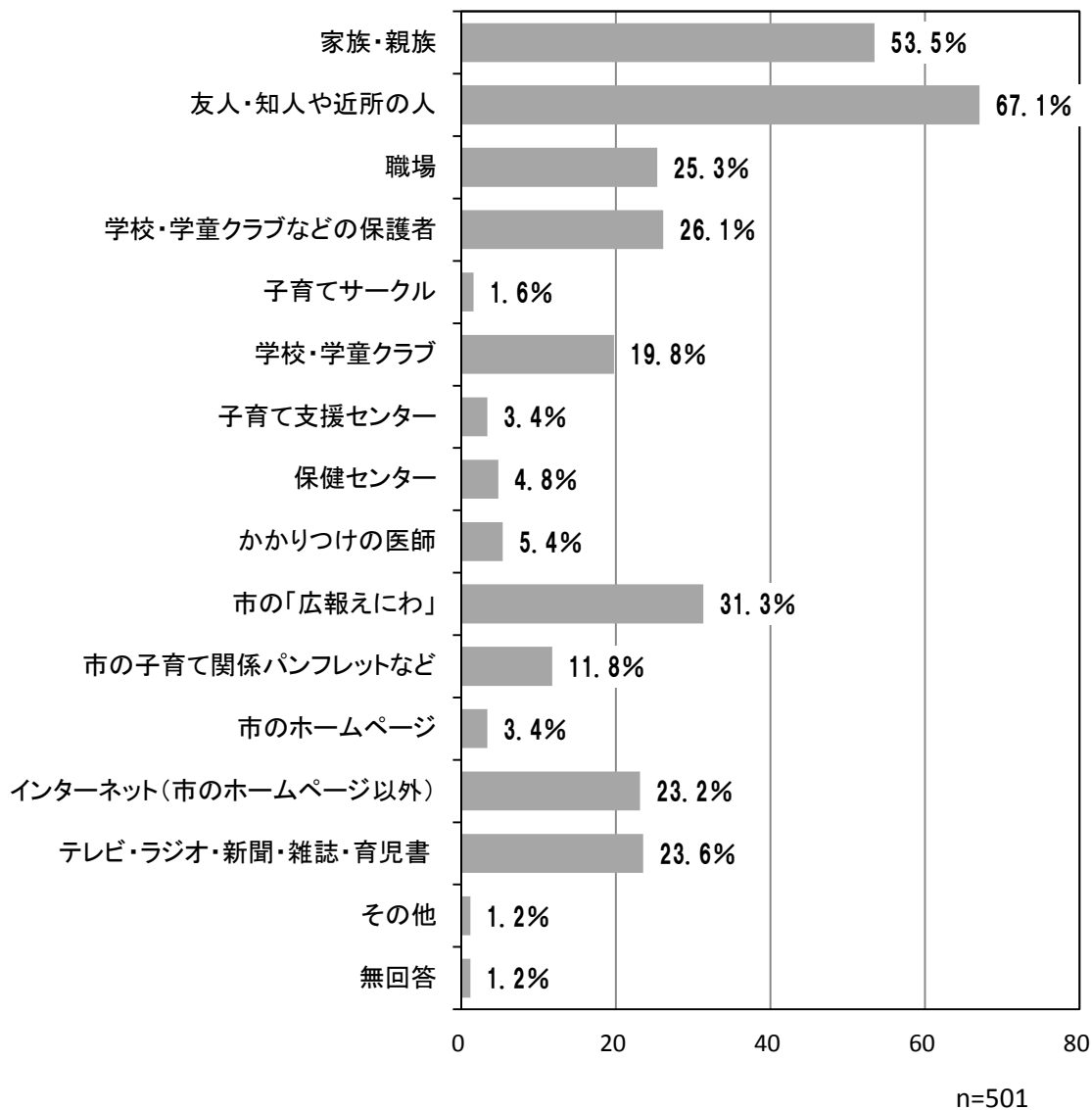


n=501

## 子育てに関する情報の入手先

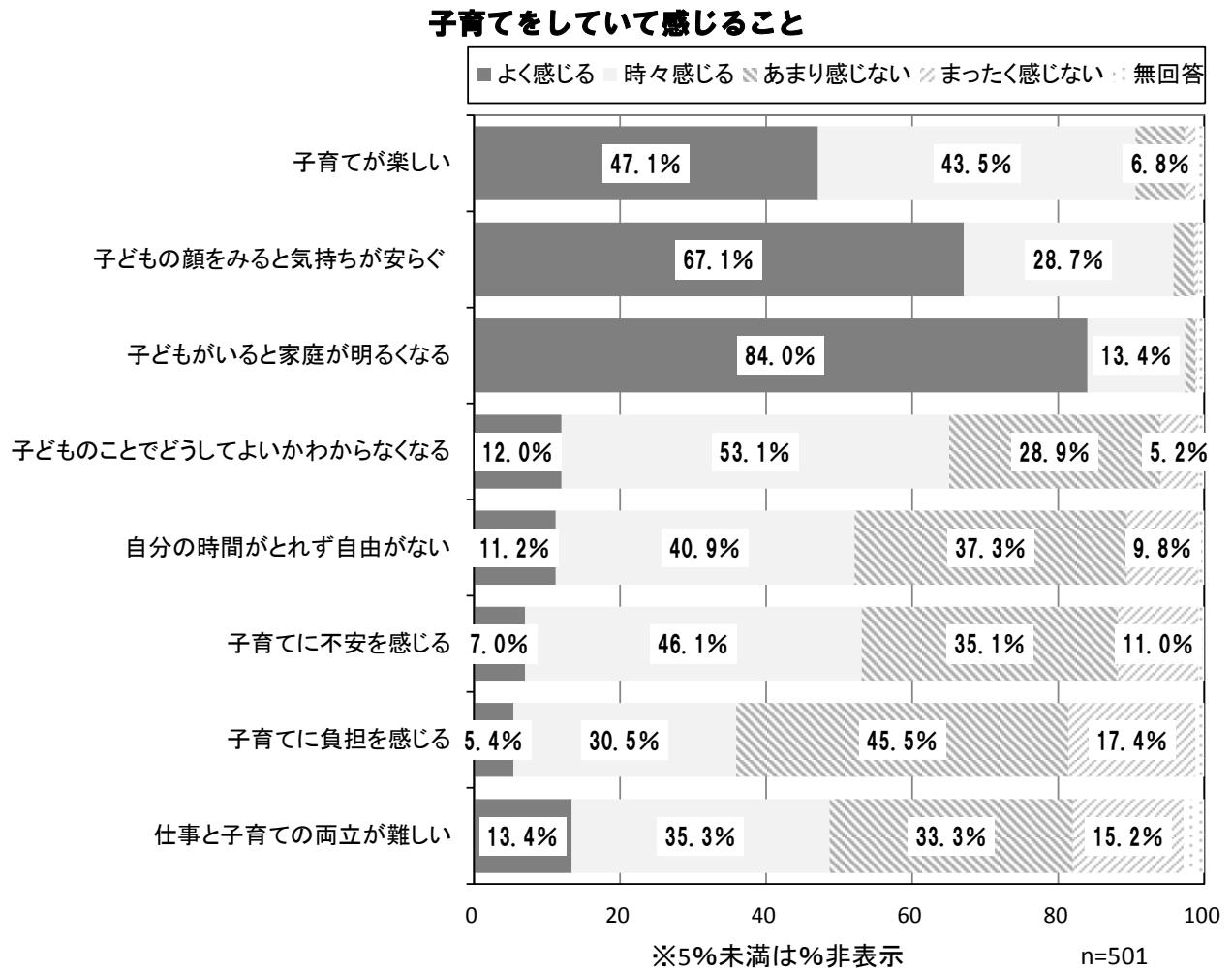
○子育てに関する情報の入手先としては、“友人・知人や近所の人”が最も多く67.1%、次いで“家族・親族”53.5%となっている。

### 子育てに関する情報の入手先



## 子育てをされていて感じること

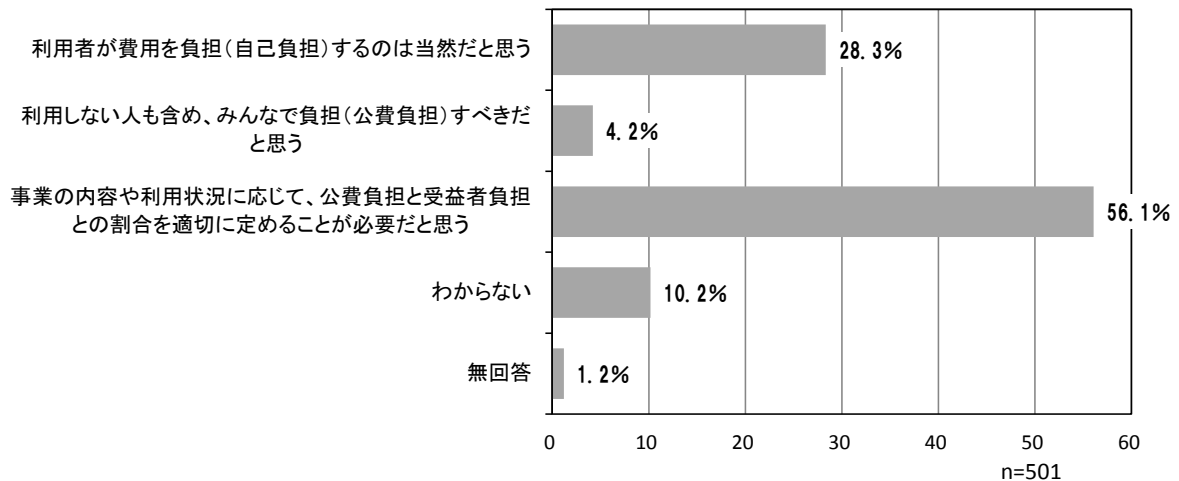
○ほとんどの人が“子育ては楽しい”“子どもの顔をみると気持ちが安らぐ”“子どもがいると家庭が明るくなる”と感じている反面、“子育てに負担を感じる”が過半数を占めている。



## 利用者が事業の費用の一部を負担するという考え方について

○利用者が事業の費用の一部を負担するという考え方について、“事業の内容や利用状況に応じて、公費負担と受益者負担との割合を適切に定めることが必要だと思う”が56.1%と半数を占め、次いで“利用者が費用を負担（自己負担）するのは当然だと思う”28.3%となっている。

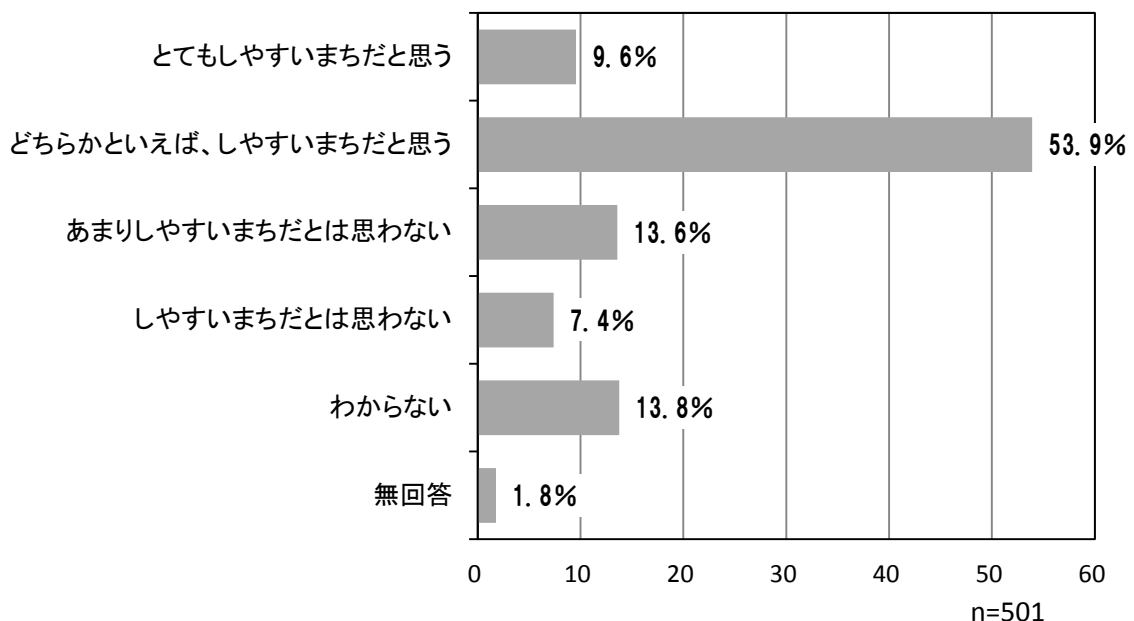
### 利用者が費用の一部を負担するという考え方について



## 恵庭市は子育てがしやすいまちだと思うか

○恵庭市における子育てについて、“とてもしやすいまちだと思う”9.6%、“どちらかといえば、しやすいまちだと思う”53.9%を合わせると、60%以上の人が恵庭市は子育てがしやすいまちだと感じている。

### 恵庭市は子育てがしやすいまちだと思うか

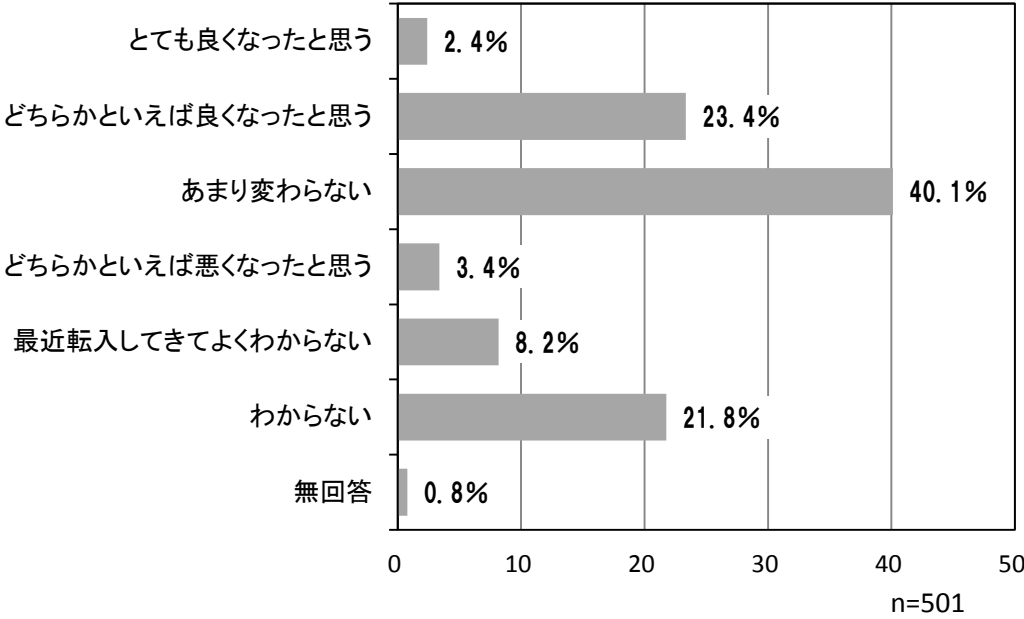




## 恵庭市の子育て環境は良くなったと思うか

○以前（3～5年前）に比べての恵庭市の子育て環境について、“あまり変わらない” 40.1%、“どちらかといえば悪くなったと思う” 3.4%に対して、“とても良くなったと思う” 2.4%と“どちらかといえば良くなったと思う” 23.4%を合わせると 25%以上の人が子育て環境が良くなったと感じている。

恵庭市の子育て環境は良くなったと思うか



## 恵庭市が今よりも子育てしやすいまちになるために力を入れるべきこと

○今よりも子育てしやすいまちになるために力を入れるべきこととしては、“保育・放課後児童保育サービスの充実”が最も多く44.5%、次いで“子どもなどの安全の確保”36.3%などとなっている。

### 恵庭市が今よりも子育てしやすいまちになるために力を入れるべきこと

